

**新小野田発電所1号機排煙脱硫装置における
火災の原因と対策について**

当社は、新小野田発電所（住所：山口県山陽小野田市新沖 所長：田中 平治 出力：100万kW）の排煙脱硫装置において、去る10月24日（月）に発生した火災事故について原因調査を進めてまいりました。このたび、発生原因と再発防止策を以下のとおりとりまとめましたのでお知らせします。

今後、このような災害が二度と発生することがないように再発防止策を確実に実施し、地域の皆様に安心していただけるよう工事の安全確保に努めてまいります。

1.火災の状況

排煙脱硫装置改造工事において、煙道解体に使用したガス溶断機の火花が飛散し、近接のミストエリミネーター（※）に着火し、延焼しました。

※ 排ガス中に含まれるミスト（水滴）を分離・除去するための装置
材質は可燃性のポリプロピレン

2.火災の原因

- (1) ミストエリミネーターは着火の危険性があるため、搬出作業後に煙道の解体作業を行う計画としていたが、手順を変更し搬出前に煙道のガス溶断作業を実施した。
- (2) ミストエリミネーター着火の危険性について、作業員への周知が徹底されていなかった。
- (3) 監視人を配置していたが、ガス溶断部冷却のための水撒き作業を兼務しており、火花の飛散監視が十分に出来ていなかった。

3.再発防止策

原因調査の結果から、以下の再発防止策を講じます。

- (1) 工事における作業手順遵守
火気を使用する工事の際は、可燃物を事前除去することなどを定めた作業手順が、遵守されるよう、請負者への指導およびパトロールを強化する。

(2) 火災防止対策の徹底

火気使用時における①可燃物の危険性周知 ②火の粉対策の徹底 ③火気使用前の近接可燃物排除 ④消火対策の充実などの火災防止対策を徹底する。

(3) 監視体制の見直し・強化

監視人の役割を毎回作業前に確認するとともに、監視人には他の作業をさせず、作業環境の監視に専念させる。

以上

別紙:

[火災発生概要図](#)

関連リンク

- [報道資料「新小野田発電所における火災の鎮火について」\(2005年10月24日\)](#)
- [新小野田発電所](#)

火災発生概要図

